

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成23年度 第1回 川西市青少年センター運営委員会		
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 青少年センター 内線(4500)		
開 催 日 時		平成23年6月29日(水) 10:00~11:40		
開 催 場 所		教育支援室 研修室		
出 席 者	委 員	益満良一、津田加代子、岩崎智也、渡邊富夫、田中利彦 中田鞆子、真鍋由香里、澁野敏彦、田村嘉規、佐伯直樹 屋島哲也、牛尾 巧		
	事務局	松田康宏、上中敏昭、大谷啓史、中井裕子		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部可	傍聴者数	0 人
傍聴の不可・一部 不可の場合は、その 理由				
会議次第		開会 1. 運営委員の委嘱について 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 (1) 平成23年度 川西市青少年センター事業 (2) 平成23年度 夏季特別補導強化期間実施要領 川西市歳末青少年補導活動実施要領 4. その他  閉会		
会議結果		協議事項は(案)どおり了承		

## 1、運営委員の委嘱

運営委員会の冒頭に委員の異動に伴ない新たに就任された委員に運営委員会会長の益満 良一教育長から委嘱辞令が交付された。

## 2、会長あいさつ

大変ご多用の中、第1回青少年センター運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。

平素より青少年の健全育成並びに非行防止に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今、教育行政を取り巻く環境に変化があります、4月から小学校においては新学習指導要領が実施され、また、来年度4月から中学校で実施されます。そのような中、学校だけで十分な対応が難しくなると思われる。今後、家庭と学校の連携、地域との連携を強化し共に手を携えて健全育成又、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

東日本大震災では、東北地方を中心に甚大な被害が出ておりますが、その中でも子どもたちの良さ、日本の国民性の良さを垣間見ることができました。日本が培ってきた伝統文化を次の世代に引き継いでいく必要があると思います。

川西市においても様々な課題や事案が起っていることも承知していますが、青少年センターを中心に学校、家庭、さらには関係機関と連携をとりながら対応に努めています。

本日の第1回運営委員会が実り多い協議になることを期待しております。委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 3、協議事項

〈事務局説明〉

## (1) 平成23年度 川西市青少年センター事業

子どもの安全を守り健全な育成を図る環境整備

教育情報の積極的な発信

体験活動の充実と互いを思い合い尊重できる心豊かな子どもの育成

支援指導の事例報告

## 【質疑応答】

(会長)

協議事項(1)事務局より説明がありましたが、質問及び意見をお伺いします。

(委員)

「こどもをまもる110番のおうち」についてですが、実際にあった事例と件数を教えていただきたい。

(事務局)

事例についてですが、昨年度、女子高校生が下校時に不審者につきまといわれ、通りにあった家に駆け込んだことがありました。その家が「こどもをまもる110番のおうち」の協力家庭であり、そこから警察に連絡してもらったことが1件、又、幼稚園にも協力いただいておりますが、過去には幼稚園に駆け込み職員が家庭に連絡をしていただいたなど2件の報告を受けている。

「こどもをまもる 110 番のおうち」の協力家庭等にはプレート、旗を子どもたちの目に入る場所に掲示していただき、何かあればいつも駆け込むように又、不在であってもその隣家に駆け込むよう学校では指導されている。

(委員)

青少年のケータイによるトラブルが続いている。他府県との繋がりができ、犯罪に手を染めることもある。

「インターネット・ケータイ」のリーフレットなど活用し「ケータイを持たせて安心」ではなく「持たさないのが安心」という思いを保護者に伝えたい。

(会長)

ケータイが普及することで状況が変わってきたのか。

(委員)

ケータイでは主にメールを利用するので、子どもたちの動きなど何をしているのかわからないのが現状である。

(委員)

ケータイや車等は文化であり文化は後戻りは出来ない。小学校でも中学校同様に情報モラル教育の必要性を感じている。

(会長)

現代のライフスタイルがケータイ、子ども部屋、孤食と「個」になってきている。

(委員)

子どもだけではなく、親もケータイでやりとりをしている。市内 23 校の P T A で「我が家のケータイ情報」と題して情報交換を実施している。

(委員)

子どもがケータイの技術を覚えるスピードが速く大人がついていけないと嘆くだけでなく、インターネットの怖さや相手が見えないことへの不安など実情を伝え警鐘を鳴らしていくことが大切である。

(委員)

「インターネット・ケータイ」リーフレットの重要性は感じている。ただ、配布だけで説明や保護者への呼びかけはどのようにしているのか。

(事務局)

子どもたちへの指導は学年集会や学活などでお願いしている。又、懇談会において保護者へも伝えていただいている。出来る限り多くの方に見ていただき啓発の一助にしたい。

インターネットは本来自己責任であり、子ども（未成年）の場合は保護者に責任がある。

(会長)

今年度より補導委員会組織において繁華街グループの見直しがされたのはなぜか。

(事務局)

子どもたちの様子が一極集中ではなくなり分散されるようになり、各地域でのたまりが増え、地域の補導委員の強化と特別補導を考えている。具体的に地区内では P T A や防犯協会等と連携し巡回を実施する。

# 審 議 経 過

No. 3

〈事務局説明〉

(2) 平成23年度 夏季特別補導強化期間実施要領  
川西市歳末青少年補導活動実施要領

(事務局)

夏季特別補導強化期間の8月31日に子どもたちが気持ちを引き締めて新学期が迎えられるよう、声かけを中心とした夏休み特別補導を実施する。

4、その他

次回は平成24年3月中旬開催予定

閉会